

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：ランゲージ・ハウス Nakajima保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：棚原 恵利子	定員（利用人数）：30名 （利用人数：30名）
所在地：〒210-0806 神奈川県川崎市川崎区中島2-1-8	
TEL：044-201-9282	ホームページ： <a href="https://ilh-nakajima.com/">https://ilh-nakajima.com/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クロベコーポレーション	
職員数	常勤職員：9名 非常勤職員：4名
専門職員	園長：1名 主任（看護師）：1名
	保育士：6名 子育て支援員：1名
	栄養士：1名 英語講師：1名
	保育補助：1名 調理員：1名
施設・設備 の概要	保育室：3部屋 トイレ：3箇所
	調理室：1箇所 事務室：1室
	園庭：無

③ 理念・基本方針

バイリンガル教育を基本とし、これからのグローバル社会にたくましく生きる「自分力」（自主性を重んじ与えるより考えることを大切にす力、「語学力」（グローバル社会の共通語である英語の教育と日本の文化を教え、礼節ある行動力を大切にす力）を鍛え、誇りある自信に満ちた人格を形成することを目指します。

【3つの基本方針】

① 子どもが安心できる保育

子どもの健康・安全に配慮し、情緒の安定を図ります

② 多様性の中での、人と人との関わりを大切にする

バイリンガル保育を柱に、日本人保育士と外国人が協力して子どもと信頼関係を築きます

③ 基本的な生活習慣を身につける

保育の中で基本的な生活習慣を伝え、道徳的な芽生えを培います

④ 施設・事業所の特徴的な取組

ランゲージ・ハウスNakajima保育園はバイリンガル保育を特徴としています。園内はカラフルでいつもワクワクするような空間を目指しています。認可保育園として必要な基本の保育があり、その上に英語という教育があります。教え込む英語ではなく自然に身につく英語を目指し、外国人のスタッフは日中を通して子どもたちに英語で語りかけます。

1年間の行事ではお月見やひな祭りなどの日本のイベントと、イースターやハロウィンなどの外国のイベントの両方を取り入れています。語学だけでなく、外国の文化についても経験することができます。

給食の献立は園独自のものであり、外国の料理と郷土料理を取り入れています。イベントの日は給食もイベントにちなんだメニューとなるので、食体験からも様々なことを学べます。

天気の良い日は毎日散歩に出かけます。近くにはたくさんの公園があるので、目的によって公園を決めたり園児の意見を聞いて行き先を決めることもあります。少し足を延ばすと多摩川があり、自然を感じながら土手で遊ぶこともあります。園の敷地内に砂場と芝生スペースがあり、外壁に絵の具やチョークでお絵描きするなどダイナミックな活動をすることもあります。

また「リーダーボード」という独自のカリキュラムがあり、当番活動を通して、責任感や積極性を身につけることができることも大きな特徴です。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年4月10日（契約日）～ 令和5年12月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)園の傾聴姿勢が保護者の安心へつながっています

園長は日頃から保護者との会話を大切にし、積極的に挨拶をし言葉を交わしています。保護者の就業状況などを把握して日々の会話から保護者の心身の状況の把握に努め、声をかけたり、相談に応じるなどしています。保護者が安心して子育てができるように些細な会話からみえてくるサインを見逃さず、主任や職員と共有し、職員全体で保護者支援に努めています。さらに、保育園を通じて園と共に子育てしていることを意識できるよう、いつでも話を聞くことを伝えています。園の姿勢が保護者の信頼となり、より良い子育てにつながっています。

2)地域の方々とふれあう機会を大切にしています

日頃から、散歩中に行き交う地域の方へ挨拶したり、園行事でふれあう機会をもっています。開園以降、近隣からご意見などを頂くことがあり、園として前向きに捉え、丁寧な説明や対応が良好な関係づくりになっています。園の行事を公園などで行うこともあり、地域の親子や世代間の方々とふれあっています。地域の親子が園の行事へ参加することで、園の楽しさを知る機会となっています。また、園の行事の様子や、保育に関わる職員を知ることができ、次年度の入園へつながっています。

3)園の特長を生かした行事運営がされています

園では、普段の保育、行事について職員からの意見やアイデアを尊重し、子どもも保育士も楽しめる行事運営を心がけています。園の特徴として外国人の職員が多く在籍しており、子どもたちにとっては、日本とは異なる文化を経験できる機会となっています。たとえば、「パジャマデー」「イースター」「アースデー」など外国人独自の視点からの行事運営をしています。

4)新規職員への教育

「期待する職員像」について、園長より職員には口頭で周知しており、園長との面談時に保育の振り返りとともに確認しています。また、職員一人ひとりの経験年数や業務に合った教育・研修を実施するなどして人材育成に取り組んでいます。しかし、今

年度は、新規入職の職員が多く、園の方針や方法が十分に徹底できていないことが課題となっています。今後も継続的な園長との面談を通してや個別の指導、研修に力を入れ、それぞれの職員が理解し、保育の質の向上が期待されます。

#### 5)各種マニュアルの構築

保育の実施に関わる各種マニュアルを作成しています。保育実践の標準化を図りながら、保育を行うことを共通認識として保育実践につなげています。日々の保育の中で職員による気づきにより、各マニュアルに同じような手順の部分が多いこともあり、見直しを適宜行い、マニュアルの再確認を行っています。園では、マニュアルに記載すべき事項を精査して再整備を進めており、今後の取組が期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園4年目で初めての受審となりました。  
アンケートの項目を一つずつ確認することで、今後整備を進める必要がある項目について気づくことができました。  
また、今回の受審で自園の強みについて再確認することもでき、良い振り返りとなりました。  
今回の受審で得たことを今後の保育園運営に生かし、そして職員一人一人が自信を持って保育できるよう、マニュアルや職場環境を整えていきたいと思えます。  
ありがとうございました。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり